

「八女福島の燈籠人形」公演（国指定重要無形民俗文化財）

1 開催日：平成30年9月22日（土）～24日（日・振休）

※口開け公演 9月21日（金）20時00

2 公演時間：①13時30分

②15時

③16時30分

④19時

⑤20時30分（※1回の公演時間 約30分）

3 芸 題：「吉野山狐忠信初音之鼓」（よしのやまきつねただのぶはつねのつづみ）

平家追討後、頼朝の不興を買った義経は、朝廷から初音之鼓とともに兄頼朝を討てとの命を受けました。義経は止むを得ず鼓を受け取りますが、静御前に鼓を与え、ちょうど現れた佐藤忠信に静の供を頼み、吉野山へと落ちのびて行きました。やがて、義経のもとに静の供をしてきた忠信ともう一人の忠信が現れました。義経はどちらが本当の忠信か鼓を打って見分けるように静御前に命じました。そして、静の供の忠信は鼓の皮となった親狐を慕って付いてきた子狐だったことを知りました。

4 開催場所：八女市本町 福島八幡宮境内

5 観 覧 料：無料

6 交通アクセス：八女ICから車で約10分

7 連絡先：八女市教育委員会教育部文化振興課 文化係 ☎0943-24-8163

8 概 要

「八女福島の燈籠人形」は、福島八幡宮「放生会」の奉納行事として、秋分の日を含む3日間上演されるからくり人形芝居です。

当初、山鹿市・大宮神社から燈籠を譲り受け、江戸時代半ばに福島町民が独自の工夫をこらし人形の燈籠を奉納したことが始まりといわれます。

当時、大阪方面で隆盛を誇った人形浄瑠璃の技術を取り入れ、現在の形態になったといわれています。

上演の舞台となる屋台は、^{やたい}3層2階建て組立式で、お囃子に合わせて華麗なからくり人形芝居が舞い踊ります。とりわけ人形の橋渡しや衣裳の早変わりなどが見どころです。 |

